

戸山

新宿区立 戸山小学校

「あなたのことが大切」

副校長 福井 みどり

先日の学校公開には、多くの保護者・地域の方々にご参観していただきました。ありがとうございました。保護者アンケートの中で「どの授業も、子ども達の集中力の高さに成長を感じて驚いた。」「真剣に取り組んでいる姿が見られて良かった。」「夏休みの自由研究が見られて良かった。どの子の作品も力作が多かった。」等のお言葉をいただきました。子ども達の良さを認め、支援して下さる保護者の皆様の温かいお心に感謝致します。

また、3日目の道徳授業地区公開講座には、台風の影響で大雨の中、保護者・地域の方々にお越しいただき、ありがとうございました。講演会では玉川大学教職大学院の田原俊二教授に「人の気持ちを大切に育てる教育」と題しご講演いただきました。その中で田原先生は「人の気持ちを大切にできるようにするための必須条件」について説かれ、それは「自分は保護者や他者から大切にされているという自尊感情が基盤にあること。」とお話されました。人は本来、他者の気持ちを理解できる神経回路（ミラーニューロン）が存在しているそうです。しかし、自分が大切にされていないと実感し、自尊感情が低いままだと、自分が怒ったり、脅したりすることで状況を変えようとしたり、状況を変えられないとあきらめて鬱状態になったりするそうです。

私たち大人が子ども達一人一人に「あなたは大切な存在だよ」と優しく温かく接することが、最初の一步なのですね。「早くしなさい!」を「待っているよ。」の言葉に変えるだけでも、子どもが受ける感情は違うそうです。たくさんのフワフワことばで子ども達に接し、「大切だよ!」の気持ちを伝えていきたいと思います。



学年の窓 3年

社会科「スーパーマーケットの見学」

3年生の2学期の社会科では、新宿区で働く人々の工夫や努力について学びます。「みなさんはどこのお店で買い物をしますか。」この問いに対して、子どもたちが家庭で調査をしてみるとスーパーマーケットで買い物をする人がとても多いことが分かりました。

「どうしてスーパーマーケットで買い物に行く人が多いのだろう。きっとそこにはお客さんを惹きつける秘密があるはず。」近所のスーパーマーケットを見学して、子どもたちは色々な工夫を発見しました。

後日、「先生。お母さんとスーパーマーケットに行ったときに新しい工夫を発見したよ。」と嬉しそうに話しかけてくれました。

子どもたちは、保護者の方と生活していく中で、子どもたちは新しい気づきや学びを深めていくことができます。今後も保護者の方や地域と一体になって子どもたちの成長のために尽力していきます。



『戸山フェスティバル』

ふれあい班担当 岡田 田島 千名原 牛込 松下

本校では1年生から6年生までの異学年でふれあい班（縦割り班）活動を行っています。

ふれあい班活動の一つの行事として10月3日(土)に戸山フェスティバルを実施いたします。ぜひ、ご来校ください。

5・6年生で7月から計画を進め、事前に試作をして、全学年で準備を行いました。当日は、学年の違う友達と協力して楽しいお店を作り、店番や遊びを協力して行います。